

研究発表会

19世紀英国科学者によるグランド・ツアー —チャールズ・バベッジを中心に

発表者：野村恒彦氏

(神戸大学大学院国際文化学研究科・異文化研究交流センター協力研究員)

日時：2011年1月26日(水)

15:00~17:00 (参加自由・無料)

場所：神戸大学国際文化学研究科

学術交流ルーム (E410)

グランド・ツアーは通常は文学芸術の場で議論されるが、科学技術の展開においても重要な役割をしたことはあまり知られていない。コンピュータの父と呼ばれるケンブリッジ大学数学教授バベッジの場合をとりあげ、19世紀科学史におけるグランド・ツアーの意味を探る。

●会場への交通

阪神「御影」、阪急「六甲」、JR「六甲道」下車。
市バス16系統「六甲ケーブル下」行に乗車。

「神大国際文化学部前」下車。徒歩3分。

※阪急「六甲」より徒歩で20分ほどですが、急な坂道が続きますので、上記バスのご利用をお勧めいたします。

●お問い合わせ(神戸大学国際文化学研究科)

三浦伸夫研究室

TEL: 078-803-7437

E-Mail: miuranob@kobe-u.ac.jp

異文化研究交流センター (IReC)

TEL&FAX: 078-803-7650

Mail: irec@ccs-srv.cla.kobe-u.ac.jp

